

新宮山彦ぐるーぷ第1999回

新春登山下見 谷・都コースから白猪山(△△△) 谷松阪市)登頂

◇実施日：2018年11月11日(日) 快晴

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、大江加予子、畑林清子、生熊

千満子、上村洋司・和美、山川治雄・白妙・自知、

岩本信行、中村佳文、松田博行、竹中卓治、梶野照雄、

湯川一郎、小原廣政(久居市) 17名。

2019年新春登山の下見として、干支の山で伊勢三山の一座である松阪市飯南町の白猪山(しらいさん)へ17名で山行を行った。

国道166号の白猪山登山口標識のある辺りで待合わせするが、8時半に着くと梶野・湯川車はなく駐車場の寺へと走行する。山川車から少し送れた沖崎・上村車は白猪山登山口標識を見て左折して辿ると地区の道普請清掃の人に会い、矢下集落への道と判り引き返し直進すると、大日堂前で地元で詳しい山川さんと山友達の小原さんと出会う。湯川車は寺駐車場へ案内したとの事。梶野車に携帯で連絡し国道分岐に戻る様に連絡すると寺が判らず最奥から戻り、一緒に慈雲山・善龍寺駐車場によく全車が合流する。川島代表から下見登山の趣旨と挨拶があり自己紹介する。



慈雲山・善龍寺駐車場に着き始令



美しい石垣柵田



白猪山へはいくつかのコースがあり、今回は谷・都コースからの往復登山となった。

駐車場を9時10分に出発、美しい柵田の急坂を登り始める。谷を渡り、砂防堤近くから右折する箇所「地元作業道に付き車乗り入れご遠慮」の看板があり、10分割された標識のある登山口である。荒れたコンクリート舗装道路を登り、橋を渡るとやや開けて茶畑があり道傍に廃屋があり休憩。そのすぐ上の尾根に出ると廃屋があり、大城地区への分岐で車道がつながっている。



登山口(△△△合目) 茶畑にある廃屋 大城コースとの分岐 鉄塔巡視路分岐を越え、尾根下を辿ると雑木林が現れ△△△標識と石柱道標(山頂△△△km)の地点に炭窯休憩所のベンチがある。



石柱道標(△△△合目)



炭窯休憩所



矢下コースとの分岐

この地点から、ゆるやかに斜上し尾根道に出る。右・雑木林、左；植林帯が、両側植林帯になると矢下コースとの分岐である。此処からの尾根道は、掘れ込み腐倒木杉が散見され、山川・梶野・上村氏が手鋸で切除。落枝を除けながら辿り、910合目標識の地点で小休止。



腐倒木杉を鋸で切除



両側杉植林帯の尾根



910合目で小休止

やや急な尾根道を登り、緩やかな平地になると夏明(約2km)・山頂(400m)の標識があり、左側の白猪山・石尊大権現神社に10時55分に到着。先般の台風の影響なのか？倒壊している。



夏明コースとの分岐



石尊大権現神社鳥居



倒壊の石尊大権現神社

白猪山石尊大権現縁起の案内板には「宝暦9年(1759)3/15に上郷宝泉寺10代法誉上人と11代形誉上人によって、神奈川県・大山寺から迎え祀られた。本尊は不動明王像。石尊というのは、奈良時代の良弁僧正が大山寺を建立しようとして山を開いて登って行く」と山頂に大きな岩石があり、その前に生身の不動如来を拝み、その岩石を尊崇され、この岩石を石尊大権現と命名されて、大山寺の鎮守とされている。地区では、毎年4月15日前後の日曜日に祭がある」と明記されていた。

神社右横には、展望に適した場所があった。明るく広い尾根道となり急登すると、展望櫓が以前建っていたが、今は礎だけの広場になっている。



神社右横の展望台



神社からの登山道



最後の急登

右に折れると白猪山山頂(△819.4m)で、11時12分に到着した。

沖崎氏の発声で三角点を囲んで、今西先生流の万歳三唱をする。山頂からは、北には青山高原、東南には七洞岳、伊勢三山・局ヶ岳、眼下に善龍寺、遠くは少し霞んでいたが伊勢湾が望まれた。昼食時間となり、お喋りを楽しみながら、新春登山では雪景色が見られるかもとのことである。



山頂(二等三角点)を囲んで今西流万歳三唱!



お喋りしながら昼食



本日の参加者



山頂より下山



前展望檣の礎

本日の参加者の記念撮影をして11時56分下山開始、急坂を
どんどん下り、元炭窯の休憩所に12時32分着。
大城の分岐からは、皆が自分のペースで下り、慈雲山・善龍寺
には13時10分に到着した。
皆が無事下山して、終令を行いここで流れ解散となった。



大城コース分岐にて



善龍寺駐車場に無事下山し終令



行動タイム

善龍寺9:10→9:27登山口→9:38茶畑・廃屋9:45→9:49大城分岐
→10:06炭窯休憩所(4/10合目)10:13→10:26矢下分岐→10:40
6/10合目標識10:45→10:55石尊大権現神社11:00→11:12白猪山
11:56→12:32炭窯休憩所12:34→12:47大城分岐→13:10善龍寺
→13:30解散。
(記:湯川、写真:川島・梶野)

